

東北大学災害科学国際研究所 IRIDeS 金曜フォーラム
2020 年度共同研究成果報告会
兼 災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション

災害科学国際研究所は発足以降、災害科学関連の研究領域において多様な共同研究を実施し、実践的防災学の発展につながる数多くの実績を挙げてきました。同時に、本邦の学際的な災害科学研究を推進する中核拠点となり得る施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークを整備して参りました。全国関連領域の研究者に本研究所のリソースを活用した共同研究の促進を目的とした助成を行っています。今年は、昨年度に実施された共同研究の成果、プロジェクトエリア・ユニットの活動報告に加え、下記特別企画がございます。

特別企画： 災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション

東日本大震災などの巨大災害、異常気象による災害、パンデミック災害などのように被害が連鎖・複雑化する災害は、防災と社会の強靱性（レジリエンス）のあり方に課題をつきつけています。社会の災害レジリエンスを向上させるために、災害科学国際研究所と防災科学技術研究所がどのような共同研究、連携・協力をを行い、さらに国内外の研究者との連携、共同利用・共同研究につなげていくかについて、これまで災害科学国際研究所と連携してきていただいている関係各位とともに考える機会として、パネルディスカッションを開催いたします。

1. 日時

2021 年 7 月 17 日（土） 9:00～17:30

2. 会場（オンライン）

Web 会議場 [Zoom]

ホール A：

参加 URL は、お申し込み頂いた方に後日お知らせいたします。

ホール B：

参加 URL は、お申し込み頂いた方に後日お知らせいたします。

3. プログラム

8:30	開場
9:00— 9:10	開会の挨拶（所長：今村 文彦，ホール A）
9:10—12:20	[共同研究]口頭発表（午前の部 18 件）
12:20—13:20	昼休憩
13:20—16:10	[共同研究]口頭発表（午後の部 16 件）
16:20—16:25	閉会の挨拶（副所長：丸谷 浩明，ホール A）
16:25—16:30	休憩
16:30—17:30	災害レジリエンスを考えるパネルディスカッション（ホール A）

口頭発表プログラム

【ホール A】

(発表 13 分+質疑応答 5 分, 準備時間 2 分)

○：発表者

セッション：A 午前（前半）

司会者：佐藤翔輔（防災実践推進部門 防災社会推進分野）

[A1] 9:10-9:30 (p.h1-h2)

津波発生時の局所避難情報伝達手段の基礎検討

○ 研究代表者：山崎達也（新潟大学）

所内共同研究者：佐藤翔輔（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）

[A2] 9:30-9:50 (p.h3-h4)

津波襲来時の住民避難プロセス解明と人的被害ゼロにむけた教訓の抽出

○ 研究代表者：牧野嶋文泰（富士通研究所 人工知能研究所）

所内共同研究者：今村文彦（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

[A3] 9:50-10:10 (p.h5-h6)

川崎臨海部における災害デジタルツインによる次世代防災システムの検討

○ 研究代表者：大石裕介（富士通研究所 人工知能研究所）

所内共同研究者：今村文彦（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

[A4] 10:10-10:30 (p.h7-h8)

津波統合モデルを用いたマルチシナリオハザード評価手法の確立

○ 研究代表者：有川太郎（中央大学）

所内共同研究者：山下啓（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）

10:30-10:40 （休憩 10 分）

セッション：A 午前（後半）

司会者：菅原大助（災害評価・低減研究部門 津波工学研究分野）

[A5] 10:40-11:00 (p.h9-h10)

沿岸低地の微地形による津波挙動・土砂移動への影響の解明

- 研究代表者：高清水康博（新潟大学 災害・復興科学研究所）
- 所内共同研究者：菅原大助（災害リスク研究部門 低頻度リスク評価研究分野）

[A6] 11:00-11:20 (p.h11-h12)

災害研の設備を活用した古津波の波源推定手法の高度化

- 研究代表者：後藤 和久（東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻）
- 所内共同研究者：菅原大助（災害リスク研究部門 低頻度リスク評価研究分野）

[A7] 11:20-11:40 (p.h13-h14)

放射線災害で想定される慢性放射線被ばくストレスの定量

- 発表者：孫略（産業技術総合研究所）
- 研究代表者：盛武 敬（産業医科大学産業生体科学研究所）
- 所内共同研究者：千田浩一（災害医学研究部門 災害放射線医学研究分野）

[A8] 11:40-12:00 (p.h15-h16)

被災二ホンザルを用いた慢性複合放射線被ばく者外挿モデルの構築

- 研究代表者：三浦富智（弘前大学 被ばく医療総合研究所）
- 所内共同研究者：鈴木正敏（災害医学研究部門 災害放射線医学分野）

[A9] 12:00-12:20 (p.h17-h18)

身体的弱者の避難生活でのリスク低減と QOL 向上を目的とした産学共同研究

- 研究代表者：坪内 暁子（順天堂大学大学院 医学研究科研究基盤センター）
- 所内共同研究者：佐藤健（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

12:20-13:20 昼休憩

セッション：A 午後（前半）

司会者：江川新一（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）

[A10] 13:20-13:40 (p.h19-h20)

COVID-19 感染のストレスにおける心的脆弱性の検出とその改善に関する研究

○ 発表者：奥山純子（東北大学病院・肢体不自由リハビリテーション科）

研究代表者：福田雄（ノートルダム清心女子大学 文学部）

所内共同研究者：門廻充侍（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

[A11] 13:40-14:00 (p.h21-h22)

CBRNE 災害後の間接的健康被害測定指標に関する研究

○ 研究代表者：越智小枝（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座）

所内共同研究者：江川 新一（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）

[A12] 14:00-14:20 (p.h23-h24)

経時活動記録のテキストマイニングによるリアルタイム災害対策予測法の確立

○ 研究代表者：田代雅実（福島県立医科大学）

所内共同研究者：稲葉 洋平（災害医学研究部門 災害放射線医学分野）

[A13] 14:20-14:40 (p.h25-h26)

原子力災害によりサクラ樹皮に付着した含放射性セシウム粒子による被ばくリスク研究

○ 研究代表者：杉浦広幸（福島学院大学 短期大学部保育学科）

所内共同研究者：千田 浩一（災害医学研究部門 災害放射線医学研究分野）

14:40-14:50 （休憩 10 分）

セッション：A 午後（後半）

司会者：寺田賢二郎（災害評価・低減研究部門 計算安全工学研究分野）

[A14] 14:50-15:10 (p.h27-h28)

蔵王・御釜における水・熱・化学物質収支から見た地下水流動系の解明

○ 研究代表者：知北和久（北海道大学 北極域研究センター）

所内共同研究者：三浦哲（災害理学研究部門 火山ハザード研究分野）

[A15] 15:10-15:30 (p.h29-h30)

東日本太平洋側に冷夏をもたらす気候場の長期復元に向けた基礎研究

○ 研究代表者：市野 美夏（情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設
人文学オープンデータ共同利用センター）

所内共同研究者：佐藤大介（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）

[A16] 15:30-15:50 (p.h31-h32)

大変形までを対象とした堤防破堤挙動を可能とする数値解析手法の確立

○ 研究代表者：小高猛司（名城大学 理工学部）

所内共同研究者：寺田賢二郎（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）

[A17] 15:50-16:10 (p.h33-h34)

重力測定を用いた伏在断層の連続性の評価

○ 研究代表者：岡田真介（岩手大学 理工学部）

所内共同研究者：岡田知己（災害理学研究部門 地震メカニズム研究分野）

16:10-16:20 （休憩 10分）

16:20-16:30 閉会式